

2025/4/17 第49回やまなしSDGsカフェ

2030年まであと5年、  
企業や市民は何ができるのか

# SDGsの現状

## SDGs採択から10年——その進捗は順調か？

---

- 2015年、国連でSDGs（持続可能な開発目標）採択
- 2030年まであと5年
  
- しかし世界では：
  - ウクライナ侵攻や中東の緊張
  - 異常気象・災害の激化
  - 貧困や格差、教育の停滞
  
- 国連報告でも「多くの目標が未達成のまま」と分析

# なぜSDGsが進まないのか？

---

- グローバル課題に対する国際協調の停滞
- 経済成長 vs 環境保全のジレンマ
- 「行動の10年」が進まず、  
\*\*“言うだけSDGs”\*\*になっているケースも

# ChatGPTに聞いてみました!!

## 「あと5年、企業や市民が出来ることのTOP10は何か？」

---

### （選定理由の背景）

#### 1. “SDGsの進捗が停滞している”という現実

国連のSDGs進捗報告（例：2023年版）でも、達成の見通しが立っていない目標が多数あります。特に気候変動（Goal 13）、格差（Goal 10）、平和と安全（Goal 16）などは悪化傾向にあります。

### （選定基準）

#### 2. 市民・企業どちらも“自分の力で取り組めること”を優先

大きな政治や国際的枠組みだけでなく、\*\*「今日からできること」\*\*という視点で選びました。

#### 3. すぐに影響が出る「実効性の高い」分野を優先

エネルギー、食、廃棄物、教育などは、日常生活や経済活動に直結しており、**取り組めば結果が見えやすい**という特徴があります。

それでも、私たちにできることがある

①今できること TOP10（市民・企業向け）

---

アクション	キーワード
1 脱炭素の実践	再エネ、省エネ、見える化
2 地域と連携する	コミュニティ支援、防災
3 フードロス削減	家庭、飲食店、流通
4 リサイクルと分別	資源の循環利用
5 教育を受け続ける	SDGsの理解と共有
6 エシカルな選択	買い物や投資の見直し
7 持続可能な農業を支援	地産地消、スマート農業
8 企業としての情報開示	サステナビリティレポート等
9 多様性ある職場づくり	ダイバーシティ&インクルージョン
10若者や次世代の育成	教育・参加の場づくり

## ②業種別SDGs優先アクション

---

業種	優先すべき視点
製造業	脱炭素・サプライチェーン・資源循環
農業	環境配慮型生産・地域貢献・雇用
サービス	働き方・教育・発信力
金融	ESG投資・脱炭素支援・教育
医療福祉	働きがい・福祉サービス・地域連携

## ③優先順位では？

---

### 🏆 1. 脱炭素へのアクション

- 緊急性：極めて高い（気候危機）
- 実行可能性：再エネ導入、省エネ等で取組やすい
- 波及効果：エネルギー転換は他の多くの目標に直結

### 🏆 2. 地域コミュニティとの連携

- 災害、人口減少など地域課題の解決が、平和と包摂性の基盤になる。

### 🏆 3. フードロス削減

- 廃棄される食料のエネルギーや資源は膨大。
- 家庭でも企業でも即取り組める点で実行可能性が高い。

ランキング理由

- ① 緊急性～地球規模での影響が差し迫っているか
- ② 実行可能性～市民・企業が行動に移しやすいか
- ③ 波及効果～取り組むことで他の目標にも良い影響を及ぼすか

## (問い)

- Q1. あなた自身が最近「SDGsのために行動したこと」はありますか？（または、していないとすれば「なぜ行動できていない」と思いますか？）
- Q2. あなたの会社・団体・地域で、特に「取り組むべき」と感じる課題は何ですか？（例：CO2、廃棄物、人材育成、地域貢献など）
- Q3. 2030年までの残り5年、個人・企業として“優先すべきこと”は何だと思いますか？
- Q4. 1つだけ「行動を変える」としたら、何をやってみたいですか？